

Case Study

支部ケース・スタディ

九州支部

地域貢献で働き方改革目指す 「社内部活」始動

大分ケーブルテレコム(株)

管理本部 広報担当

橋本 麻由



大分ケーブルテレコム株式会社について

当社は1989年、大分市と由布市が出資する第3セクターとして設立し、92年に大分市でテレビ放送サービスを開始しました。サービス提供エリアは大分県内18市町村のうち11の市と町へ拡大し、2016年にはJ:COMグループへ。従来以上の質の高いサービス、先進性のある情報・エンターテインメントの提供を通じ、地域社会の発展に寄与することを目指しています。従業員数は215名(2017年現在)。平均年齢34歳と若い社員が多く、明るく、エネルギーに満ち溢れています。2017年の8月には、「大分七夕まつり」の初日に行われる「府内戦紙」に踊り隊・担ぎ隊として初参加。社員一丸となって熱い夏を乗り切ることが出来ました。



大分ケーブルテレコム局舎



社員も参加した「府内戦紙」(2017年8月)



2018年1月「社内部活」活動開始

2018年1月、当社は「社内部活」を開始しました。

「部活」というと、学生時代に励んだ野球やサッカーといったスポーツなどが連想されますが、私たちが始めたのは「地域貢献」と「働き方改革」を同時に実現する為の部活です。活動の内容と目的は以下のとおりで、今回5つの部を発足しました。

<内容>

活動内容ごとに分けた複数の部を発足し、各社員が自分の希望する部に所属。部ごとにその活動に参加する(=社内部活)。ただし、活動内容は地域に貢献できることが条件。

<目的>

- 社外の幅広い年齢、職業の方と一緒に活動することにより、コミュニケーションスキルや人間力の向上を図り、社外の人的ネットワークを広げる
- 地域の活性化や団体の人手不足解消に貢献し、J:COMの行動指針の一つである「コミュニティをつなぐ」を体現する

- 終業後の時間を有効に使うことで残業削減を目指し、“働き方改革”を実現する
- 社員同士の更なる良好な関係を構築する

また、社内部活へ参加しやすいように今回新たにボランティア休暇も導入しました。年間5日、休日に部活動に参加する際などに利用できます。

<部活動>

①地域・スポーツ部

県が募集する「小規模集落応援隊」に加入し、小規模集落の人手不足の問題を解決する

②大分まちづくり部

当社がネーミングライツを取得した、「J:COM ホルトホール大分」前の大分いこいの道の環境を整えるためのボランティアサポーター

③防災・防犯部

交通安全、災害ボランティア活動、AED使用方法の啓蒙活動

④環境保全部

CLEAN UP OUR TOWNの実施、植樹活動である「企業参画の森林づくり」への参加

⑤コトのはじまり部(通称コトのハ)

ヒトとヒト、ヒトとアイデア等、地域のリソースをつなぎ、大分の「コトのはじまり」をプロデュースする

社内部活の発足については新聞各社で掲載いただき、大分県内の行政の方からも活動について称賛していただく等、各方面より温かい反響がありました。



各部の活動報告

次に、活動実績として大分まちづくり部と環境保全部の取り組みをご紹介します。

<大分まちづくり部>

■大分いこいの道広場の清掃活動

2018年1月13日、第1回目の取り組みとして「大分いこいの道広場の清掃活動」へ参加しました。

大分いこいの道広場とは、大分駅南に位置する広大な芝生広場のことで、週末になると様々なイベントが開催される場所です。当社はその大分いこいの道広場前にある市の複合文化施設「ホルトホール大分」のネーミングライツを取得し、2018年1月より通称が「J:COMホルトホール大分」となりました。

清掃活動は朝8時30分からスタート。約1時間、清掃活動を致しました。参加人数は約80名で、うち30名が当社から参加。社員の家族からも参加があり、小さいお子さんも一生懸命清掃に取り組んでくれました。



「J:COM ホルトホール大分」ネーミングライツ発表会見



地域の人たちと社員が一緒になって行なった「大分いこいの道広場の清掃活動」



<環境保全部>

■別府大分毎日マラソン大会前一斉清掃

大分の一イベントの一つである「別府大分毎日マラソン大会」の前日、2018年2月3日に、大分市内のマラソンコースを清掃する活動に参加。毎年、大分市職員・大分県職員・国交省職員・民間企業・各種団体が参加する清掃活動で、今年で6回目の実施。民放が取材に入るなど、毎年恒例の有名な清掃イベントとなっており、朝礼後1時間程度清掃活動を行い、全体で118袋のごみを収集しました。

全体参加人数は1,125名。当社からは28名が参加しました。



「別府大分毎日マラソン大会」の前日に、マラソンコースを清掃。大分市長も参加

■別大国道マイツリー植樹式

同日、道守大分会議(道守九州会議)主催で開催された「別府大分毎日マラソン大会」の主要コースであり、別府市と大分市を結ぶ「別大国道」に植樹を行うイベントに参加。参加者は、「別大国道マイツリー会員」として、別大国道区間に各団体1本ずつ植樹を行います。今回植樹したのは、15団体15本。このマイツリーのイベントは6年ぶり4回目の開催でした。

植樹した木には、ネームプレートが取り付けられ、当社も「J:COM大分ケーブルテレコム(株)」と書かれたネームプレートを取り付けました。今後、当社は「別大国道マイツリー会員」として、植樹したマイツリーのお世話やマイツリー周辺、別大国道の清掃活動等を行います。



別府市と大分市を結ぶ「別大国道」に植樹を行うイベントに参加。植樹した木には、「J:COM大分ケーブルテレコム(株)」と書かれたネームプレートが取り付けられた



<参加した社員の声> 参加した社員からは「清々しい朝を迎えられた」「次回も参加したい」といった声が上がられました。

また、お子さんと一緒に参加した社員は、お子さんが真剣に取り組む姿を見ることができ、「またやりたい、楽しかった」という声も聞けたそうです。

なかには営業先で会った当社のお客様とボランティア活動先でも偶然出会ったという社員も、2回目の参加時や別の場所で以前一緒に活動した方と再開できたという声もありました。

今後の展望について

大分県では今年、国民文化祭が開催され、2019年にはラグビーワールドカップも予定されています。県内・国外から多くの方が大分県にいらっしゃることが見込まれています。今後も社内部活を通じて、地域貢献ができるよう各部、積極的に取り組んでいきたいと思っています。